

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

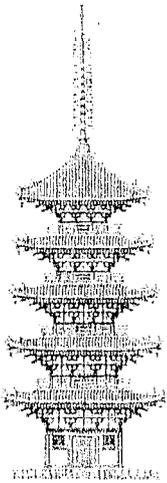
皆さん、明けましておめでとうござ
います。今日は**初弘法**ですね。弘法さ
んかわら版も足かけ四年目に入りま
した。今年もどうぞ宜しくお願いいた
します。

★弘法大師と「曜日」

さて、今日は金曜日ですが、**曜日**と
いう考え方を初めて日本に伝えたの
が誰かご存知ですか。実は弘法大師な
のです。

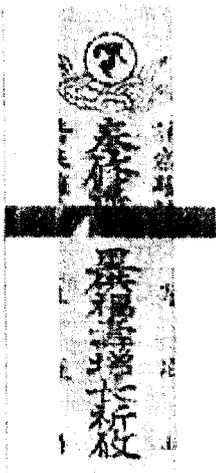
曜日の起源はインドで書かれた「**宿
曜経**」という密教の經典にあります。
これを中国に伝えたのは**不空三蔵**と
いう人物です。この不空三蔵は、弘法
大師の師匠である**惠果和尚**の師匠、つ
まり弘法大師の**大師匠**(師匠の師匠)
です。

留学僧として中国(唐)に渡った弘
法大師が惠果和尚に師事し、宿曜経を
日本に持ち帰りました。



★星祭り

さて、この宿曜経の教えに沿って、
高野山の**宝善院**では、毎年二月三日の
節分の日に**星祭り**が開かれています。
人には**数え年**によって九種類の**当
たり星**(九曜星)があるとされています。
す。羅喉星、土曜星、水曜星、金曜星、
日曜星、**火曜星**、**計都星**、**月曜星**、**木曜
星**の順です。これは九年周期で一回転
しますが、曜星によって大吉から凶ま
で**吉凶の差**があります。そこで星祭り
では、吉の星に当たった人はさらに運
勢が良くなるよう、凶の星に当たった
人は災難を避けるよう、**星供養茶羅**に
各人の**御守札**を供えてお祈りをしま
す。



星祭りの御守札の一例

★覚王山で星祭り？

さてこの星祭り、遠い高野山の行事かと思いきや、ここ覚王山でもその御守札を入手できるという話を耳にしました。

四国霊場の日本最小の「写し」、覚王山八十八カ所霊場の第十五番札所(国分寺)で、高野山宝善院の星祭りにお供えする御守札を取り扱っているそうです。ご関心をお持ちの方は、日泰寺本堂東側の階段下、**B地区**にあります。第十五番札所にてお尋ねください。

★菩薩と如来

高野山宝善院のご本尊は**観世音菩薩**です。通称「**宝観音**」と呼ばれているそうです。観音様は日本では最も人気のある仏像の一つですね。

ところで、かわら版の第十八号で仏像にはいろいろな種類があることをご紹介しました。菩薩は悟りを開いて**如来**になる前の姿だそうです。

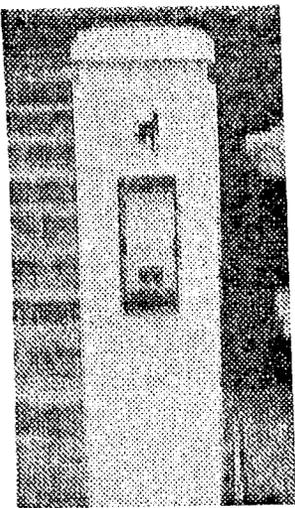
今年のかわら版では、こうした仏像の基本について勉強してみたいと思います。乞うご期待。



★百度石と浄メ石

ひとつ訂正とお詫びです。先月号で日泰寺本堂東側の**階段の上に「百度石」**があるとお伝えしましたが、よく確認したところ、**階段の下、覚王山八十八カ所霊場の札所が集中するB地区**にいくつもあることがわかりました。申し訳ございませんでした。

一方、階段の上にあるのは「**浄メ石(きよめいし)**」の石柱です。浄メ石にはまっている**車輪のような丸い石**を願い事を念じながら回すと、願いが叶うと言われています。皆さんも、初弘法の願をかけられてはいかががでしょうか。



★目の観音様

先月号をお配りしている際に、十一月号でご紹介しました「**目直し観音**」こと**柳谷観音**の場所についてお尋ねいただきました。参道の真ん中あたり、**樫尾クリニツク**さんのすぐ近くにあるそうです。柳谷観音についてはさらに面白いことがありますので、また来月以降に報告させて頂きます。